

令和4年度改訂版「歯学教育モデル・コア・カリキュラム」と 本書との対照表

青字は「ねらい」を表す

A 生命科学	生命現象の基本的知識並びに病因や病態解析に必要な知識を修得し、医療の提供や発展に必要な考え方を身に付ける。	
モデル・コア・カリキュラム項目	ねらい / 学修目標	本書該当部 (章一項)
A-2 人体各器官の発生、成長、老化と死	人体各器官の発生、成長、老化と死に関する生命現象の基本を理解する。	
A-2-4 口腔、顎顔面領域の発生と加齢変化	口腔、顎顔面領域の発生過程と加齢変化(成長・発育と老化)、その異常を理解する。	
	A-2-4-8 歯、歯周組織、咀嚼機能、嚥下機能の加齢変化を理解している。	1-2, 3-1, 3-2, 3-5, 16-1, 18-1
モデル・コア・カリキュラム項目	ねらい / 学修目標	本書該当部 (章一項)
A-3 人体各器官の正常構造と機能	人体各器官の正常構造と機能に関する基礎的知識を身に付ける。	
A-3-3 口腔領域の構造と機能	口腔及び隣接領域の基本的な構造と機能を理解する。	
	A-3-3-6 唾液の性状、構成成分及び機能を理解している。	2-2
	A-3-3-9 口腔、顎顔面領域の体性感覚と疼痛の発生機序及び制御機構を理解している。	1-2, 4-2, 7-4
A-3-4 歯と歯周組織の構造と機能	歯と歯周組織の構造と機能を理解する。	
	A-3-4-3 遺伝的な歯の形成異常を理解している。	3-3
	A-3-4-4 永久歯、乳歯、根末完成歯、幼若永久歯の硬組織の構成成分、構造及び機能を理解している。	1-2
	A-3-4-6 歯の形態異常を理解している。	3-3
モデル・コア・カリキュラム項目	ねらい / 学修目標	本書該当部 (章一項)
A-4 感染と免疫	微生物の感染機構と宿主の生体防御機構について理解する。	
A-4-1 微生物と感染	微生物の基本的性状、病原性と感染によって生じる病態を理解する。	
	A-4-1-8 滅菌と消毒の意義、方法及び原理を理解している。	5-8, 5-9
B 歯科材料と歯科医療機器	歯科用材料と歯科用機器に必要な知識を修得し、医療の提供や発展に必要な考え方を身に付ける。	
モデル・コア・カリキュラム項目	ねらい / 学修目標	本書該当部 (章一項)
B-1 材料の基本物性	材料の物理的(光学的、機械的性質を含む)、化学的、生物学的性質(生体活性、安全性)について理解する。	
	B-1-1 材料(生体組織を含む)の物理的(光学的、機械的性質を含む)性質を理解している。	4-4, 4-5, 4-7, 4-8, 7-1, 7-2, 8-1, 8-2, 9-1, 9-2, 10-2, 11-1, 11-3, 12-1, 12-2, 12-5, 13-1, 13-2, 13-4, 13-7, 14-1, 14-2, 15-2, 15-3
	B-1-2 材料の化学的性質を理解している。	4-5, 4-7, 4-8, 7-1, 7-2, 8-1, 8-2, 8-3, 9-1, 9-2, 10-2, 10-3, 11-1, 11-3, 12-1, 12-2, 12-5, 13-1, 13-2, 13-4, 13-7, 14-1, 14-2, 15-2, 15-3, 16-1, 16-2
	B-1-3 材料の生物学的性質(生体活性、安全性)を理解している。	4-3, 7-1, 8-2, 10-4, 12-1, 13-2, 15-2, 16-1, 16-2

B-2 歯科材料	歯科医療や歯科技工に用いられる歯科用材料の種類、成分、特性、用途及び操作方法について理解する。	
	B-2-1 成形修復・歯冠修復用材料の種類、成分、特性、用途及び操作方法を理解している。	7-1, 7-2, 8-1, 8-2, 8-3, 8-4, 9-1, 9-2, 9-3, 9-4, 10-1, 10-2, 10-3, 11-1, 11-4, 12-1, 12-2, 12-5, 12-6, 13-1, 13-2, 13-8, 15-4
	B-2-3 接着用材料の種類、成分、特性、用途及び操作方法を理解している。	8-3, 9-2, 11-4, 12-6, 13-8, 14-1, 14-2, 15-4
B-3 歯科医療機器	歯科医療や歯科技工に用いられる成形、加工技術並びに歯科用機器の構成、原理、特性及び使用方法について理解する。	
	B-3-1 歯科用材料の成形、加工(切削、焼結、重合、鋳造、溶着等)の原理を理解している。	8-2, 9-4, 11-1, 12-2, 12-5, 13-1, 13-5, 13-6, 13-7, 14-1, 14-2, 15-2, 15-3
	B-3-2 歯科用機器の種類、構成、原理、特性及び使用方法を理解している。	5-1, 5-2, 5-5, 5-6, 5-7, 8-2, 9-4, 11-4, 12-2, 12-5, 13-1, 13-2, 13-7, 14-2, 15-2
	B-3-3 歯科用検査装置の種類、構成、原理、特性及び使用方法を理解している。	1-3, 2-2, 5-1
	B-3-4 成形・加工用機器(デジタル成形加工を含む)の種類、構成、原理、特性及び使用方法を理解している。	8-2, 11-1, 11-4, 12-2, 12-5, 13-1, 13-7
C 社会と歯学	適正な歯科医療を提供するために、歯科医師に求められる倫理的、法的、社会的知識と態度を身に付ける。	
モデル・コア・カリキュラム項目	ねらい/学修目標	本書該当部(章一項)
C-1 医の倫理、生命倫理と患者中心の歯科医療	患者中心の歯科医療を提供するために、プロフェッショナリズムを身に付ける。	
C-1-1 医の倫理と患者中心の視点	患者の主体的治療参加を促すために、患者の安全を最優先して常に患者中心の立場に立つとともに、遵守すべき生命科学・医学系研究における倫理に関する知識と態度を身に付ける。	
	C-1-1-4 インフォームド・コンセントの意義、重要性及び必要な説明事項を理解している。	1-3
D 臨床歯学	安全・安心な歯科医療を提供するために、頭頸部領域の構造と機能の正常と異常を理解し、日常の診察に必要な基本的知識及び臨床技能に関する知識を身に付ける。	
モデル・コア・カリキュラム項目	ねらい/学修目標	本書該当部(章一項)
D-1 診療の基本	信頼される安全・安心な歯科医療を提供するために、必要な診療の基本的知識を身に付ける。	
D-1-2 麻酔・除痛法	処置における除痛、鎮静法として局所麻酔法、精神鎮静法及び全身麻酔法の基本を理解する。	
D-1-2-1 局所麻酔法	D-1-2-1-1 局所麻酔の特徴と目的及び種類を理解している。	4-2, 7-4
モデル・コア・カリキュラム項目	ねらい/学修目標	本書該当部(章一項)
D-2 基本的診察、診断	患者から症状や異常を聴取し、適切な診察や検査を選択して診断するプロセスと知識を身に付ける。	
D-2-1 医療面接(病歴聴取と医療コミュニケーション)	良好な医師-患者関係を構築する重要性を理解し医療面接に必要な基本的知識を身に付ける。	
D-2-1-1 一般成人の医療面接	D-2-1-1-3 病歴聴取(主訴、現病歴、既往歴、家族歴、生活歴、社会歴、職業歴等)を理解している。	1-3
D-2-2 口腔、顎顔面領域の診察、検査	口腔、顎顔面領域の疾患の診断に必要な診察、検査の基本的な知識を身に付ける。	
D-2-2-1 診察、検査に必要な事項、器材を理解している。		1-3, 2-2, 2-3, 5-1
	D-2-2-2 現症の取り方(視診、触診、打診、温度診等)を理解している。	1-3
D-2-5 画像検査を用いた診断	放射線等を用いた診断の特徴と適応並びに画像の解釈を理解するとともに、放射線の人体に対する影響と放射線防護の方法を理解する。	
D-2-5-6 口内法エックス線検査の種類と適応及びパノラマエックス線検査の適応を理解している。		1-3
モデル・コア・カリキュラム項目	ねらい/学修目標	本書該当部(章一項)
D-3 頭頸部領域の疾患の特徴と病因	頭頸部領域の疾患の示す異常や症状とその原因、診断法、治療法等を身に付ける。	
D-3-1 口腔、顎顔面領域の疾患の病態、診断、治療	口腔、顎顔面領域の疾患の特徴と病因及び診断と治療の基本的概念を理解する。	

D-3-1-2 外傷	D-3-1-2-3 歯の外傷と歯槽骨骨折の原因、種類、症状、診断法及び治療法を理解している。	3-4	
D-3-2 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因	歯と歯周組織に生じる疾患の概要を理解する。		
	D-3-2-1 齶蝕とその他の歯の硬組織疾患 (Tooth Wear (歯の損耗)、生活歯の変色、象牙質知覚過敏症、歯の亀裂・破折、歯の形成不全、歯の形態異常) の病因と病態を理解している。	2-1, 2-2, 2-3, 3-1, 3-2, 3-3, 3-4, 3-5, 16-1	
	D-3-2-4 口腔細菌、プラーク (口腔バイオフィルム) 及び歯石を理解している。	1-3, 2-1, 2-2	
	D-3-2-5 歯痛の機序を理解している。	1-2, 2-1, 4-2	
モデル・コア・カリキュラム項目	ねらい / 学修目標	本書該当部 (章一項)	
D-4 診療情報の統合、分析、評価と治療計画立案	患者の診療情報を適切に取り扱い、評価し、患者の心理や健康増進に配慮した治療計画を立案するための知識を身に付ける。		
D-4-2 診断と治療計画	患者の歯科疾患及び内科疾患に加えて、社会的問題を考慮した治療計画立案の過程と知識を身に付ける。		
	D-4-2-3 治療方針と治療の優先性及び患者の背景や希望を考慮して治療計画を立案できる。	1-3, 2-2	
D-4-3 患者中心の医療とインフォームド・コンセント	患者中心の医療を理解し、患者の選択権を尊重する手法を身に付ける。		
	D-4-3-1 代表的な疾患における専門用語をインフォームド・コンセント及びインフォームド・アセントを用いる患者に分かりやすい用語で表記できる。	1-3	
モデル・コア・カリキュラム項目	ねらい / 学修目標	本書該当部 (章一項)	
D-5 基本的臨床技能	安全・安心な歯科医療を提供するために、各種歯科治療技能に関する知識を身に付ける。		
D-5-1 歯科保健指導	歯科疾患の予防と口腔衛生管理を理解する。		
	D-5-1-1 主な歯科疾患 (齶蝕、歯周疾患、不正咬合) の予防を理解している。	1-3, 2-2, 2-3, 18-3	
	D-5-1-2 齶蝕予防における予防填塞及びフッ化物の応用方法を理解している。	2-2, 2-3, 9-2, 18-3	
D-5-2 歯と歯周組織の疾患の治療	歯と歯周組織に生じる疾患の治療法を理解する。		
D-5-2-1 齶蝕とその他の歯の硬組織疾患の診断と治療	D-5-2-1-1 齶蝕とその他の歯の硬組織疾患 (Tooth Wear (歯の損耗)、生活歯の変色、象牙質知覚過敏症、歯の亀裂・破折、歯の形成不全、歯の形態異常) の症状、検査法、診断及び治療法を理解している。	1-3, 2-1, 2-2, 2-3, 3-1, 3-2, 3-3, 3-4, 3-5, 16-1, 18-3	
	D-5-2-1-2 Minimal Intervention Dentistry (MID) に基づく歯科治療の意義と臨床的対応を理解している。	1-1, 1-3, 2-3	
	D-5-2-1-3 修復材料とその取扱い、修復法の適応を理解している。	7-1, 7-2, 7-3, 8-2, 8-3, 8-4, 9-2, 9-3, 9-4, 10-1, 10-3, 11-1, 11-2, 11-3, 11-4, 12-1, 12-3, 12-4, 12-5, 12-6, 13-1, 13-2, 13-3, 13-4, 13-5, 13-6, 13-7, 13-8, 15-1, 15-2, 15-3, 15-4, 18-3	
	D-5-2-1-4 修復に必要な前処置の目的と意義を理解している。	7-4	
	D-5-2-1-5 象牙質・歯髄保護の意義、種類及び方法を理解している。	4-1, 4-2, 4-3, 4-4, 4-5, 4-6, 4-7, 4-8	
	D-5-2-1-6 窩洞形成の意義と方法を理解している。	6-3, 8-4, 9-4, 11-2, 11-4, 12-4, 13-3, 15-4	
	D-5-2-1-7 仮封の意義、種類及び特徴を理解している。	4-8	
	D-5-2-1-8 修復後の管理の目的と方法を理解している。	1-3, 8-5, 10-3, 11-5, 11-6, 12-7, 13-8, 15-5, 17-1, 17-2, 17-3, 17-4	
	D-5-2-2 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療	D-5-2-2-6 失活歯の変色の原因と処置を理解している。	3-2, 16-1, 16-2
	D-5-6 小児の歯科治療	小児の歯科治療の特殊性を理解する。	
D-5-6-1 乳歯と幼若永久歯の齶蝕の特徴と予防法を理解している。		2-1, 2-2, 2-3, 9-2	
D-5-7 高齢者の歯科治療	高齢者の身体的、精神的及び心理的特徴と歯科治療上の留意点を理解する。		
	D-5-7-7 要介護高齢者 (在宅要介護者を含む) の歯科治療時の留意点を理解している。	18-1, 18-2, 18-3	

E 診察・診断と治療技能	適切な歯科医療を提供するために、頭頸部領域の症候・病態から適切な診察・検査を選択して診断を行い、治療計画を立案したうえで安全・安心な治療を実践できる基本的臨床技能を身に付ける。	
モデル・コア・カリキュラム項目	ねらい/学修目標	本書該当部(章一項)
E-1 診療の基本	信頼される安全・安心な歯科医療を提供するために、救急処置法を身に付けるとともに、患者安全対策に配慮した医療を実践し、処置時には適切な疼痛管理(除痛法)を実践する。	
E-1-3 麻酔・除痛法	歯科治療を実施するために必要な疼痛管理と局所麻酔法を身に付ける。	
E-1-3-1 局所麻酔(表面麻酔・浸潤麻酔)を実施できる。(I a)		4-2, 7-4
モデル・コア・カリキュラム項目	ねらい/学修目標	本書該当部(章一項)
E-2 基本的診察・診断技能	臨床において患者から症状や異常を聴取し、適切な診察や検査を選択して診断できる技能を身に付ける。	
E-2-1 初診時の医療面接	良好な医師-患者関係を構築するためにコミュニケーションの重要性を理解し、医療面接に必要な知識、技能及び態度を身に付ける。	
E-2-1-1 一般成人の医療面接	E-2-1-1-4 患者の病歴(主訴、現病歴、既往歴、家族歴、生活歴、社会歴、職業歴等)を聴取できる。(I a)	1-3
E-2-2 口腔、顎顔面領域の診察・検査	口腔、顔面領域の疾患を診断するために必要な診察と検査に関する知識、技能及び態度を身に付ける。	
E-2-2-1 患者情報から必要な診察、検査を選択できる。(I a)		1-3, 2-2, 2-3, 5-1
E-2-2-3 口腔内及び歯の診察・検査(視診、触診、打診、温度診、歯髄電気診、透照診(I a)、齶蝕リスク検査(I b)、レーザー蛍光強度測定(II))を実施できる。		1-3, 2-2, 2-3, 5-1
E-2-2-4 歯・歯列・咬合の診察を実施できる。		1-3, 5-1
モデル・コア・カリキュラム項目	ねらい/学修目標	本書該当部(章一項)
E-4 診療記録の整理と治療計画立案	患者から得られた医療情報の取り扱いを理解し、得られた情報を基にする患者中心の治療計画の立案法を身に付ける。	
E-4-2 診断と治療計画	一口腔単位の歯科治療を行うために患者情報を収集・分析、診断して、治療計画を立案するための知識、技能及び態度を身に付ける。	
E-4-2-2 疾患に対する治療方針に加えて患者の背景や希望を考慮して総合治療計画を立案できる。(I a)		1-3, 2-2
E-4-3 インフォームド・コンセント	臨床実習を通して患者中心の医療を実施し、歯科医師として必要な医の倫理、患者の権利についての知識、態度を身に付ける。	
E-4-3-2 インフォームド・コンセント及びインフォームド・アセントを得ることができる。(I b)		1-3
E-4-3-3 患者の訴え、また指導歯科医からの指摘事項も参考に、治療結果を適正に評価できる。(I a)		1-3
モデル・コア・カリキュラム項目	ねらい/学修目標	本書該当部(章一項)
E-5 基本的治療手技	安全・安心な歯科医療を提供するために、基本的治療技能を身に付ける。	
E-5-2 歯科保健指導	歯科疾患の予防と口腔衛生管理を実施する。	
E-5-2-2 口腔衛生指導を実施できる。(I a)		1-3, 2-1, 2-2, 18-3
E-5-2-5 生活習慣の指導ができる。(I b)		2-2, 16-1
E-5-3 高頻度治療	高頻度で遭遇する歯と歯周組織に生じる疾患の治療を実施できる。	
E-5-3-1 齶蝕、その他の歯の硬組織疾患の治療	E-5-3-1-1 コンポジットレジン修復(単純窩洞)ができる。(I a)	8-2, 8-3, 8-4
E-5-3-1-2 コンポジットレジン修復(複雑窩洞)ができる。(I b)		8-2, 8-3, 8-4
E-5-3-1-3 グラスアイオノマーセメント修復ができる。(I b)		9-2, 9-3, 9-4
E-5-3-1-4 メタルインレー修復ができる。(I b)		13-3, 13-4, 13-5, 13-6, 13-7, 13-8
E-5-3-1-5 コンポジットレジンインレー修復ができる。(I b)		11-2, 11-3, 11-4
E-5-3-1-6 補修復ができる。(I a)		17-1, 17-2, 17-3, 17-4
E-5-3-1-7 象牙質知覚過敏症に対する処置ができる。(I a)		3-5
E-5-3-1-8 修復後の術後管理ができる。(I a)		1-3, 8-5, 10-3, 11-5, 11-6, 12-7, 13-8, 15-5, 17-1, 17-2, 17-3, 17-4
E-5-3-2 歯髄及び根尖性歯周疾患の治療	E-5-3-2-3 直接覆髄法と間接覆髄法ができる。(I b)	4-6, 4-7
E-5-3-2-4 暫間的間接覆髄法ができる。(I b)		4-6, 4-7

令和4年度改訂版「歯学教育モデル・コア・カリキュラム —診療参加型臨床実習の内容と分類—」と本書との対照表

Eの項目		I. 指導者のもと実践する課題				
		I a. 患者への診療として自 験※する課題	本書該当部 (章一項)	I b. 患者への診療として自 験が期待されるが、困難な 場合はシミュレーション等で 補完できる課題	本書該当部 (章一項)	
E-1 診療の基本	E-1-3 麻酔・除痛法	局所麻酔(表面麻酔、浸潤麻酔)	4-2, 7-4			
E-2 基本的診察・ 診断技能	E-2-1 初診時の医療 面接	初診および再診患者の医療 面接	1-3			
	E-2-2 顎顔面・口腔 領域	口腔内の視診、触診 歯の打診、温度診、歯髄電 気診、透照診 歯周組織検査(歯の動揺度 検査、プラーク検査) 咬合紙を用いた咬合接触検 査 模型検査	1-3, 2-3, 5-1	齶蝕リスク検査	2-2	
	E-2-5 画像検査を用 いた診断	口内法エックス線画像の撮 影と読影 パノラマエックス線画像の撮 影と読影	1-3			
E-4 診療記録の 整理と治療計画 立案	E-4-2 診断と治療計 画	治療方針、予後予測及び治 療計画の立案	1-3, 2-2			
	E-4-3 インフォーム ド・コンセント	治療方針及び治療計画の患 者説明	1-3, 2-2	インフォームド・コンセント の取得	1-3	
E-5 基本的治療 手技	E-5-2 歯科 保健指導	成人	口腔衛生指導	1-3, 2-1, 2-2, 18-3	食事指導、食育指導 生活習慣に関する指導	2-2, 16-1
		小児 その他				
	E-5-3 高頻 度治療	保存修 復系	コンポジットレジン修復(単 純窩洞) 象牙質知覚過敏処置 補修修復	3-5, 8-2, 8-3, 8-4, 17-1, 17-2, 17-3, 17-4	コンポジットレジン修復(複 雑窩洞) コンポジットレジンインレー 修復 メタルインレー修復 ガラスイオノマーセメント 修復	8-2, 8-3, 8-4, 9-2, 9-3, 9-4, 11-2, 11-3, 11-4, 13-3, 13-4, 13-5, 13-6, 13-7, 13-8
			歯内治 療系			直接覆髄法・間接覆髄法 暫間的間接覆髄法
	E-5-5 小児の歯科治 療		フッ化物歯面塗布	2-2, 2-3, 18-3	予防填塞	2-2, 9-2

※自験の定義：指導歯科医の管理・監督の下で、学修者が実際に歯科医療行為を経験する実習

(「歯学教育の改善・充実に関する調査研究協力者会議第1次報告を踏まえた第3回フォローアップ調査のまとめ(平成28年3月31日)」より抜粋)

Eの項目		II. 経験が望まれる重要な課題		
		介助、見学を通じた経験が推奨される専門性、先進性を有する課題	本書該当部(章-項)	
E-1 診療の基本	E-1-3 麻酔・除痛法			
E-2 基本的診察・診断技能	E-2-1 初診時の医療面接			
	E-2-2 顎顔面・口腔領域	楔応力検査、レーザー蛍光強度測定 唾液分泌検査	1-3, 2-2, 3-4	
	E-2-5 画像検査を用いた診断			
E-4 診療記録の整理と治療計画立案	E-4-2 診断と治療計画			
	E-4-3 インフォームド・コンセント			
E-5 基本的治療手技	E-5-2 歯科保健指導	成人		
		小児 その他	初期根面齲蝕のフッ化物塗布	2-2, 2-3, 18-3
	E-5-3 高頻度治療	保存修復系	セラミックインレー修復 ラミネートベニア修復 生活歯の漂白処置 レーザーを用いた修復処置	5-5, 12-1, 12-2, 12-3, 12-4, 12-5, 12-6, 15-1, 15-2, 15-3, 15-4, 15-5, 16-1, 16-3
		歯内治療系	外傷歯の処置 失活歯の漂白処置	3-2, 3-4, 16-1, 16-2
	E-5-5 小児の歯科治療			